公共工事入札・契約制度説明会

指名停止措置を強化

九地整

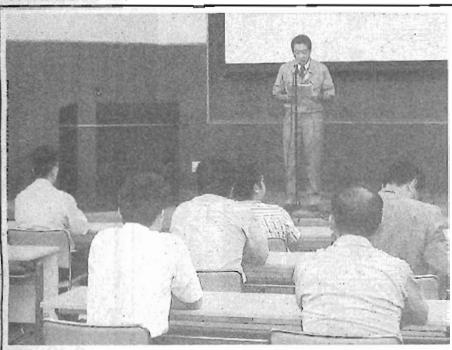
九州地方整備局は29日、鹿児島市の県建設センターで公共工事入札・契約制度の最近の状況に関する説明会を開き、不正行為防止のための違約金特例条項の創設、指名停止措置の強化、工事成績の重要性などについての講義が行われた。

説明会には、九地整の入札参加資格を有する事業所の契約、工事担当者ら約350人が出席。冒頭、九地整総務部総括調整官の佐藤善昭氏が「入札契約制度が目まぐるしく変化する中で、当局としても、より一層の透明性、競争性の確保に向けて、適正な契約執行業務が遂行できるよう努めていきたい」と挨拶。

続いて、同局総務部契約課長の岸省三氏が、入札・契約適正化徹底のための方策として、違約金条項の創設と電子入札促進の観点から講義。特約条項の創設や請負代金額10％相当の損害賠償額の予定の適用について説明。また、電子入札は7月末現在、入札参加実数に対して工事関係で54％、コンサル関係で68％の実績があったと報告した。

このあと、総務部契約課調査係長の山田浩徳氏は、指名停止件数の増加傾向とペナルティの強化について、独禁法違反と完工高や技術者の割増など建設業法違反が多発していると指摘。企画部技術管理課長の奥野修司氏は、小規模工事における総合評価方式試行、工事成績重視の入札契約方式にシフトしつつある状況等を説明した。

工事成績重視の入札導入が増加する―との講義があった説明会＝鹿児島市の県建設センターで



健康管理の講話が行われた安全大会（上）と約60人が参加した献血＝鹿児島市の県赤十字血液センターで

安全大会と献血

健康管理で講演実施

県冷凍空調工業保安協会青年部会

県冷凍空調工業保安協会青年部会（川畑道穂会長）は27日、鹿児島市の県赤十字血液センターで会員ら約30人が出席して15年度安全大会を開催した。

会では初めに、川畑会長が「青年部として何か社会奉仕はできないかと思い、計画しました。今日の大会をきっかけに慣例化していきたい。今後も一致協力して頑張っていこう」と挨拶。続いて、前田芳夫県赤十字血液センター所長を講師に招き、健康管理の講演が行われ、環境衛生や学校、職場、巡回等集団検診等の充実について解説し、参加者は熱心に聴講した。

このあと、各自健康状態を問診表に記入し、血液検査や血圧測定などを行った後、次々と献血車に乗り込み、不足する貴重な血液を提供していた。また、昼からは忙しい仕事の合間を見て従業員らも駆けつけ、約60人が血液不足解消に貢献した。

甲突川ウオッチング

水辺の緑化提案へ調査

県造園建設業協会

歩行調査を行う参加者＝鹿児島市の甲突川沿いで

県造園建設業協会（丸山重之会長）は27日、地域の環境に適した川づくりを目指し、技術開発を図ろうと「水辺の緑化・甲突川ウオッチング」と題して、甲突川の上流河頭橋付近から河口までを歩き、植生の復元状況などを調査した。

同協会では、12年度に生物の多様な生息場所の確保や良好な河川景観と水辺空間の形成を目的とした「自然育成小委員会」を設置し、甲突川水系や県内の河川に護岸工法や植物の耐性調査など、試験施工や追跡調査を実施。新技術の開発に努め、自然環境の保全を図り研究を進めている。

当日は、会員ら約20人が鹿児島市の天保山公園共月亭前に集合、初めに五反孝一副会長が「造園技術者の視線と技術で、なにか水辺緑化ができないか、できることを探してみてほしい」と挨拶した後、一行は上流の河頭橋に移動して植物や生物などの現状を記録しながら、歩行調査を行った。

自然育成小委員会の木村憲治責任者は「予想以上に植物も生物も多く見られ、水際にはハナショウブやキショウブの景観植物、遊歩道沿いでも植栽に適した部分があり、手ごたえを感じた。今日の成果は今後検討・集約し、提案していきたい」と話した。

JSCAの9月例会

建築構造士の活動強化も

日本建築構造技術者協会（JSCA）鹿児島地区会（若松典男幹事）は25日、鹿児島市のジェイドガーデンパレスで9月例会を開き、延べ600人の来場でにぎわった第1回「建築構造in鹿児島」（7月20、21日の2日間）の反省会や今後の活動計画等について意見交換をした。

事務局の木場正人氏（㈲鹿建設計）が「全く未知の業界で初めて目にするものばかり。災害を防ぐため基礎の大切さが分かった」「建築はややもすると意匠が重視されるが、構造に関して広く知らせることはもっと重要」「建築構造士がどんな仕事をしているのか全然知らなかったので勉強になった」など88項目のアンケート回答を読み上げ、年齢では20～40歳台が圧倒的に多く、関心をもった展示は「耐震技術」「建築構造の仕組み」「地震被害」などだったと報告した。

これを受けて徳広育夫氏（鹿児島大学教授）、国料光弘氏（国料構造計画）、蒲池広和氏、上永瀬守氏（㈲絵夢建築設計工房）、新村康宏氏（新村設計構造事務所）、中村友直氏（中村建築設計）、塩屋晋一氏（鹿児島大学助教授）ら出席者から「一般が対象であれば展示名はもっと柔らかい名称に変更すべきだ」「次世代の子供たちにこそ見てもらいたい。授業の一環で学校側にも動員を呼びかけるべきだ」「建築構造士の知名度を高めるため対外的活動を強化する必要がある」などの発言があった。次回開催については「鹿児島ならではのテーマで定期的に継続する」ことを申し合わせた。また10月17日から開催の「くらしと建築展」に出展することを決めた。

好評だった構造展で意見交換する出席者＝鹿児島市のジェイドガーデンパレスで

天然ガス車で日本一周

石川　忠さん

天然ガス自動車の普及とイメージアップを目指したわが国初の日本一周に、無事成功しました。8月21日、埼玉を出発して東北、北海道へ向かい、その後、日本列島を一路南下。26日、全国16カ所の充填所を出発して東京へ着、ガス充填を行いました。

9日間の総走行距離は3751キロ。1回の充填で300キロ以上走れるとみていましたが、大分から熊本への山越えで予想以上の燃料を消費し、走行条件によって大きな違いが出ることが分かりました。

今後、走行時に記録した全行程のデータを分析・公表し、天然ガス自動車のユーザーの方々の利便性向上に役立てたいと考えています。

埼玉県内には18カ所の天然ガスESがありますが、1カ所当たり月約2000台の充填が採算ベース。天然ガス自動車の広範な普及を念願しております。

（埼玉県石油業協同組合事務局長）

SPACE HOUSE が鹿児島に
スペースハウス
新登場
・簡単、スピーディーな作業
・安全性、快適性を重視
・コンセント、照明・換気扇付
・運搬時のコストダウン化
ハウス事業部
鹿児島支店
鹿児島市永吉町（アリーナ近く）
☎（099）250-5060番
FAX（099）285-5999番
串木野支店
串木野市さつま山（R3号線沿）
☎（0996）32-2839番
FAX（0996）32-4156番
スペースハウス「エクストラ」
販売・リース 県下総代理店
中央仮設株式会社
☎（099）229-5900